

認知症スキルアップ研修会 開催結果

～認知症ケアに関わる取り組みについて学ぼう～

項目	内 容
1 目 的	認知症ケアに関わる取り組みについて学び、認知症ケアに関わる専門職が日頃の困難事例への対応について情報共有し検討する機会とする
3 日 時	令和6年2月16日(金) 10:00～11:30
4 場 所	オンライン開催(ZOOM) ※当初は市立病院2階会議室であったが、院内の感染症拡大状況から変更した
5 内 容	開会・挨拶 在宅生活支援小部会長 梅澤 健志 (1) 講演「認知症認定看護師の役割について」 講師 深川市立病院 認知症認定看護師 前川凡子(約15分) (2) 意見交換会 ・困難事例:参加者から事前に集約 閉会
6 出席者	北空知1市4町地域包括支援センター職員(6名) 医療介護相談・在宅生活支援部会委員(在宅生活支援小部会)(8名)、 地域リハビリテーション活動支援事業担当者(深川市立病院作業療法士)(1名) その他(1名) 計16名
7 結 果	(1) 講演内容 ○前川看護師から、認知症認定看護師の役割や実際の活動内容などについて以下のとおり説明がありました。 ・認知症認定看護師役割は実践、指導、相談の三つが。これらを実施し現場のリーダーとして病院施設、地域全体の看護の質を高めることが求められている。 ・実践は、患者家族に対し専門知識に基づき適切看護を判断し実践する。患者の隠れたニーズを読み取り的確なケアを行い、周辺症状を予防緩和する。医療現場の整備を行い、事故や症状悪化を防止する ・指導は、他の看護師に対し水準の高いケアを行えるよう専門知識や看護技術などでサポート。実践を通じた多様な症状、具体的対応方法、ノウハウ指導。勉強会や研修会開催、看護活動のマニュアルの整備 ・相談は、患者、家族、看護師に対し問題や疑問などを相談し改善策を支援。中心症状などで看護に困窮している家族へのケアやアドバイス、ケア方法に問題を抱える看護師や他職種のアドバイス ・実際の活動は主に病院での活動が中心。身体拘束をしないケアを心がけ、ルート類を触る原因を探り対応している。日常生活・治療のサポート、BPSD(行動・心理症状)の対応、せん妄の発症予防・早期離床・重症化予防などのケアに重点 ・術後ケアでは、入院・手術していることが理解できなくなる患者が多いので、その原因を追求してケア。家族支援として、入院前の生活と現在の生活の変化をアセスメントし、支援を行っている ・指導では、院内学習会、新人学習会、看護学生への講義、認知症看護委員会での活動、市民講座などを行っている ・相談は主に看護師や医師からの相談が中心で、BPSDへの対応や薬剤の検討、リスクの高い患者への対応方法などの相談を受けている ・今後は、認知症患者や家族、他職種との連携がより重要になると考えられ、共生社会の実現に向け連携を深めながら活動していく必要がある (2) 意見交換会 ○各市町から下記の相談内容が予め情報提供され、認定看護師からそれぞれの対応について専門的な立場から助言がありました。

	<p>【深川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症状があるにもかかわらず、受診につながらないケースや、本人は困っていないが、家族や近所等が困っているケース（深川市） <p>【妹背牛町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門外来受診につなげるまでに苦労する、本人の説得（上手な誘い方）、家族への勧め（病院選び等）、遠方家族や隣近所等の理解と協力、施設等転居の説得 ・病院の選び方、受診後のフォロー、「年相応」等と言われ妙に自信がきサービス等に繋がらない ・独居や認知介護状態の高齢夫婦世帯の在宅支援 ・サービス拒否、精神・行動障害、汚部屋、失禁 <p>【北竜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅では穏やかでもデイサービスを促すと怒りだす。入院時帰宅願望、夫婦二人世帯、息子は遠方。見守り中心の支援だがサービス拒否が強くどのような支援ができるか ・独居女性。30分後に同じ事を話すなど物忘れ多いが自覚あり。友人関係良好で失敗あってもトラブルには発展していなく周囲のサポートあり、生活できているが、今のうちにできる支援はあるか
8 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○講演から認知症認定看護師の役割や実際に行っている内容について分かりやすく説明があった ○個別のケースについてもそれぞれ専門的な立場からアドバイスがあり、参加者は普段の業務に活かすために情報収集をすることができた。また、担当者がお互いの事例について情報交換する場となった ○アンケート結果から、参考になった、お互い苦慮していることに共感しモチベーションが上がった、自分だけでは思いつかないアプローチ方法が見つかる、などの意見があり有意義な研修となった ○今後は地域での個別のケース対応での相談や研修の講話に参画することも可能であることのアナウンスがあった

